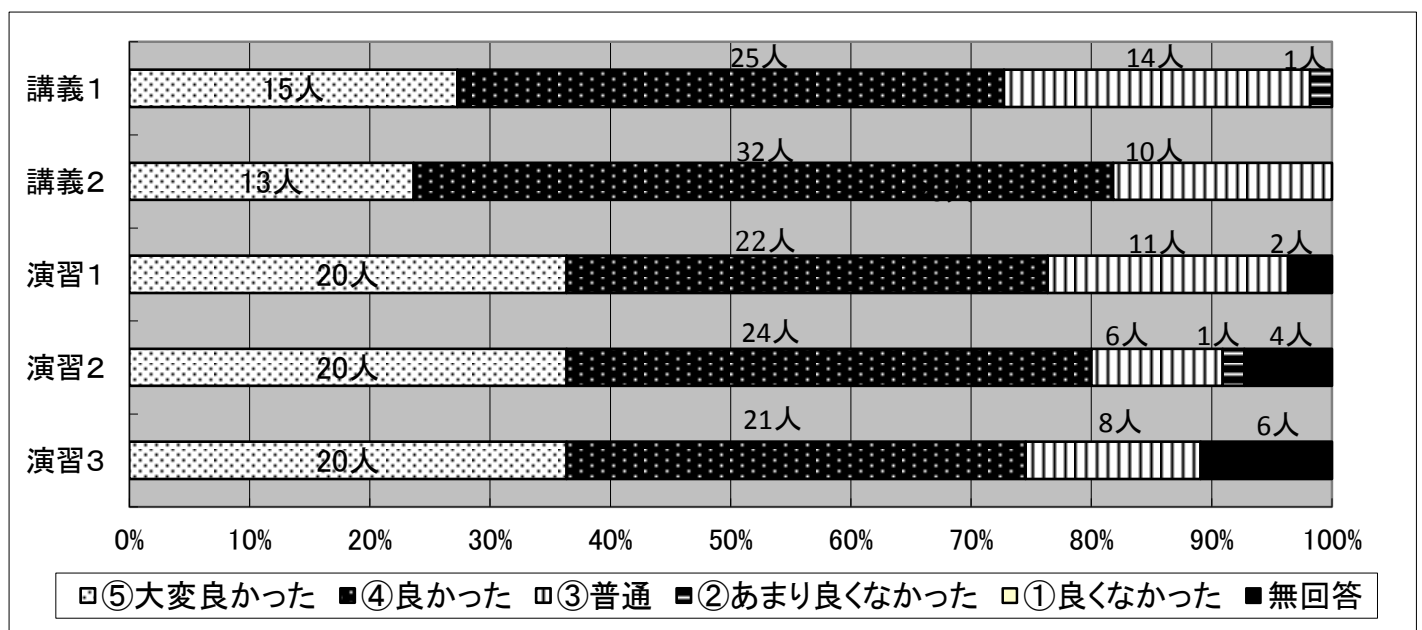


# 平成29年度長野県福祉サービス第三者評価調査者継続研修 アンケート集計結果

アンケート回収人数 55人/59人 (回収率93.2%)

## 1 各プログラムの感想

| 科目                                  | ⑤大変良かった | ④良かった | ③普通   | ②あまり良くなかった | ①良くなかった | 無回答   |
|-------------------------------------|---------|-------|-------|------------|---------|-------|
|                                     | 実数(人)   | 実数(人) | 実数(人) | 実数(人)      | 実数(人)   | 実数(人) |
|                                     | 比率(%)   | 比率(%) | 比率(%) | 比率(%)      | 比率(%)   | 比率(%) |
| 講義1<br>「第三者評価の現状と課題」                | 15      | 25    | 14    | 1          | 0       | 0     |
|                                     | 27.3%   | 45.5% | 25.5% | 2%         | 0%      | 0%    |
| 講義2<br>「福祉サービス第三者評価基準(障がい者・児版)について」 | 13      | 32    | 10    | 0          | 0       | 0     |
|                                     | 23.6%   | 58.2% | 18.2% | 0%         | 0%      | 0%    |
| 演習1<br>「質問づくりの演習」                   | 20      | 22    | 11    | 0          | 0       | 2     |
|                                     | 36.4%   | 40.0% | 20.0% | 0%         | 0%      | 6%    |
| 演習2<br>「インタビューのロールプレイ演習」            | 20      | 24    | 6     | 1          | 0       | 4     |
|                                     | 36.4%   | 43.6% | 10.9% | 2%         | 0%      | 11%   |
| 演習3<br>「コメント作成の演習」                  | 20      | 21    | 8     | 0          | 0       | 6     |
|                                     | 36.4%   | 38.3% | 14.5% | 0.0%       | 0%      | 10.9% |



## 自由意見

### (1) 講義1「第三者評価の現状と課題」

|   |
|---|
| 評価施設の目的・背景 法律の理解 各分野の専門性の理解をもっとしていかなければいけない |
| メモ書き、アンダーラインを引くなど、内容確認をしながら学べました            |
| 事業者アンケートについて、もう少し詳しい説明が聞きたかった               |
| いつも感じますが、大変分かり易い                            |
| いつも思いますが、時間がもう少しあるといいですね                    |
| 情報として知っていた。                                 |
| わかりやすく、課題がみえた                               |
| 各サービスごとに説明をしていただいた                          |
| 要領よくはっきりとした言葉で話されていた                        |
| 現状を把握できて良かった(制度改正含め)                        |
| 他県、隣県の受審実態を知りたい                             |
| 帰宅してよく復読したいと思います                            |
| ポイントを押さえた説明であり、具体的で、分かりやすかった                |
| もっと説明が聞きたい<br>ゆっくりと進めてほしい                   |

### (2) 講義2「福祉サービス第三者評価基準(障がい者・児版)について」

|  |
|--|
| わかりやすく話が聞けました  |
| 今回の改定版の中で内容項目少ない項目の中で事業所の特徴や方針を適確にとらえていくため聞き取りなどが難しいと感じた |
| もう少し内容を確認したい<br>障がい別での評価の難しいところの確認など                     |
| P59⑭→P89⑭と説明<br>ふせんを貼る間がありあわてずできました<br>わかりやすかったです        |
| ポイントを押さえたお話でわかりやすかった                                     |
| 岡田さんの苦勞された事例など、現場の評価員としての声を聞きたい。                         |
| 情報として知っていた。  |
| 障がいについてわかりやすかった<br>問題もみえてきた                              |
| 新制度の内容が具体的説明   |
| 要領よくはっきりとした言葉で話されていた                                     |
| 特に障がい含め実体験がない為、説明が参考になりました                               |
| ポイントを押さえた説明であり具体的で、分かりやすかった                              |
| もっと説明が聞きたい<br>ゆっくりと進めてほしい                                |

### (3) 演習1「質問づくりの演習」

|  |
|--|
| 考え方や流れの確認ができた  |
| 評価記入について学ぶことができました<br>評点について理解できました                                  |
| 何回やっても難しいが、丁寧に教えていただきありがたいです   |
| 事実、仮説、目的、質問文への導き方が学べた。   |
| 大変勉強になった   |
| 実務の経験が少ないので、課題の理解を学ぶ機会が得られる→実際に使えるように                                |
| 自分が実際行ったことがないので、質問のつくり方がむずかしいが、例文があったので、考え方がわかりやすかった                 |
| ワークシート①の中で、事実、仮説、目的の3項目の記載例等もわざわざ提供していただいたのですが、記入方法について十分な理解が出来なかった。 |
| 同じ項目を大勢で取り組むことができたので、視点の違いや捉え方の違いを感じた。                               |

### (4) 演習2「インタビューのロールプレイ演習」

|   |
|---|
| ことばの使い方ひとつで人から情報を得る事もわかる  |
| 自分自身のこととしてとらえられた  |
| わかってはいても、言い方ひとつで受取手の感情を左右することになってしまうことをあらためて感じた<br>答えやすい質問の仕方、良いところを引き出せる質問をしたい |
| 楽しかったです   |
| 事例等レクチャーしていただく時間を増やして欲しい  |
| お互いに演じあうことはやってくれたいが、自分のくせがわかる   |
| 緊張せずに気軽に出来て身に付きやすいと思った。自分の特性は知る事は大事。  |
| 他のことに時間を使った方が良いかと   |
| 役事の感情、相手の言葉よっての反応など考えて質問を考えさせられた  |
| 実際にやってみるロールプレイで実感できて大変よかった  |
| 立場を変えての言葉のやり取りが非常に分かり易い状況理解を得ることができます。演じることで。                                   |
| インタビュー②により、なぜアセスメントシート等を改善したか、施設長の思いや取り組みの意義まで理解することができる大切な事だと実感できました           |
| 良い例、悪い例の比較は勉強になりました。今後に役立ったと思います。   |
| 立場を変えたロープレは普段きづかずにいた部分です。自身の強みを生かして実践したいと思いました。                                 |

### (5) 演習3「コメント作成の演習」

|   |
|---|
| コメントはむずかしい  |
| 苦手なところなのでよかった   |
| コメント作成力不足を感じる   |
| 勉強になりました  |
| 出席者に事前アンケートを取り、期待、ニーズを把握の上で内容(①ロープレか②レクチャーか③課題を決めての話合いか等)を工夫していただけたらどうでしょうか |
| 文章作成力が必要  |
| 時間をかけるとすれば、この部分かと。個人の国語力の問題もあるが、言葉遣いの最低限度の県としてのルール作りが必要かと思う。                |
| 何回やっても勉強になります   |
| 一番大変でしたが、頭をフル回転して書く事ができました。   |
| 書く事の大変さがわかり良かった   |

|   |
|---|
| 短時間での文章作成は良い緊張の中での学習でした。  |
| コメントづくりはいつも難しく思いますが、学びたい項目です<br>もう少し時間がほしかったです<br>ポイントを学びたい<br>講師のアドバイスはわかりやすくすばらしかったです |
| 各グループのコメントを聞かせていただき、まとめ方の工夫等参考になることが多かった  |

## 2 継続研修の開催日について

- ① 平日開催がよい 46
- ② 土曜日開催がよい 4
- ③ 日曜日開催がよい 2

意見 平日と土曜日と開催してほしい  
どちらでもよい

## 3 継続研修の開催時期について

- ① 現在の時期でよい 43
- ② 土曜日開催がよい 8

意見 7月頃(2件)  
5月頃  
11月～12月頃  
9月初旬  
早い時期か、9月は施設行事イベント等で忙しい月となるため  
5月頃

## 4 今後希望する研修

|   |
|---|
| 評点の(評価)つけ方  |
| なかなか専門分野を学ぶ機会が少ない。本や文献だけでなく、専門分野の方を中心に勉強会がほしい(研修会<br>は各々機関でもよいかも?)                        |
| 早めに開催時期を知らせてほしい   |
| 改正後の法(関連する法について)  |
| 保育所の第三者評価がふえる中、研修も是非お願いしたい  |
| 東京都の先進的な評価内容についてお聞きしたい<br>どうしたら受審する事業所が増えるのか?具体的な方法について研修したい                              |
| 実際に自分の評価した内容がどのように施設から評価されたのか知りたい。ほかの評価機関の評価をそのまま<br>自分の評価に当てはめると、違う結果になってしまうのではないのでしょうか? |
| 来年も岡田先生でお願いします  |
| 今年の研修も大変良かったです。原点にもどりロールプレイの勉強をさせていただきました。ありがとうございました。                                    |
| 解説書の(手引きの勉強をしたい)  |
| ロールプレイぜひ<br>ワークシート2がよかった  |
| 今回のような形で勉強になりました。良かったです。  |

## 5 継続研修についての要望

|   |
|---|
| 専門的な研修がほしい  |
| 保育について継続研修を実施してほしい<br>専門の件数を別のプログラムで実施してほしい   |
| 配布いただいた資料の内容について<br>評価調査者に対する意見につき、受審者側からそれなりの意見が寄せられた場合、極端な内容であれば事実がどうなのかを行政サイドでも調査、検討していただきアンケート内容が正しければ(あきらかにおかしなやりとりを行っていたら)然るべき指導を当該調査者、当該評価機関に行うべきではないでしょうか。一部の調査者の勘違いで評価制度のイメージが決まるのは決してあるべき姿では無いと思います。また退出ルールは大賛成です。制度を定着させるためには調査者の平準化、場合により修正も必要と思います。それだけ基本に立ち返る研修を実施していただき、まだ同じことが起きるといのは評価者に対するタイプの向き不向きの問題もあるのではないのでしょうか？ |
| 研修ばかりでなく、実際の仕事がほしい。県が力を入れ、施設に受審をうながして下さい。   |
| 岡田先生でお願いします   |
| 実際の各評価機関が行った評価結果を参加者で評価し合う「評価事例検討会」ができないでしょうか。自分の評価に評価して頂ければありがたい。<br>「B」評価をつけることは「不十分」とすると評価することになる。すると結果的に「何が不十分か？」を問われることになる。ほとんどが「B」であれば、細目毎に「不十分な点」を書く事が必要なのか？たぶん施設側は求めて来るだろう。大変なことです。   |
| 行政説明について、さーっと流してしまいましたが、出来ればもう少ししていねいに説明していただきたい(時間の関係もあろうかと思いますが)  |
| 岡田講師は今回5年(たしか)職員の方が毎年かわりますが、もう少し第三者…研修に理解をお願いします。   |
| 講義で問題となっていた第三者としての姿勢の見直し  |